

評価の進め方（案）について

ア．評価の考え方

さくらやまなみバス事業の評価は、単なるバス利用者数や収支状況等だけでなく、施策の実行状況や利用者・地域住民にとっての必要性、或いは、さくらやまなみバスの運行による波及効果など、総合的、多角的な視点での評価を行うことが望まれる。

| 評価の視点（案） | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 【事業効率に関する評価】 | 輸送人員、運行収支、損失補てん等に着目 |
| 【サービス等に関する評価】 | 満足度、認知度、利用特性等に着目 |
| 【事業の必要性・有効性に関する評価】 | 学校教育、地域活性化、まちづくり、環境対策等に着目 |
| 【事業効率向上等の取り組みに関する評価】 | 利用促進、地域参画、経費節減等に着目 |

イ．利用者等の意向調査について

(1) 調査目的

- ① さくらやまなみバス事業の継続可否を意思決定するため、事業評価に有用なデータを取得する。
- ② そのため、バス利用者に対しては、当該路線の必要性等を確認する。また、バス非利用者に対しては、新規利用の創出に向けた潜在需要等を確認する。

| 対象 | 調査項目（案） |
|------|--|
| 利用者 | <ul style="list-style-type: none"> ・ さくらやまなみバスの利用状況（頻度、目的、行き先等） ・ さくらやまなみバスが存在しない場合の行動特性（外出機会、行き先、利用手段等）など |
| 非利用者 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 非利用者の交通特性 ・ さくらやまなみバスを利用しない理由など |

(2) 調査方針

①調査対象及び配布方法

| 評価の視点 (案) |
|--|
| 【山口地区の居住者】 <ul style="list-style-type: none">・ 回収率を確保するため、自治会を通じて配布・回収を行う。 |
| 【当該路線の利用者+家族・知人】 <ul style="list-style-type: none">・ 利用者や潜在需要を有する対象者に、調査票の配布・回収を行う。(配布は、平日・休日の各1日を想定)・ 利用者にあわせて、非利用者の意見も把握するため、アンケート調査票は家族・知人用にあわせて、複数枚配布 (=利用者の家族・知人に回答を依頼) する。 |
| 【山口地域からさくらやまなみバスを利用して通学する学生】 <ul style="list-style-type: none">・ 回収率を確保するため、PTAを通じて配布・回収を行う |

②調査対象及び配布方法

6月下旬～7月上旬を想定

※調査票の確定，印刷，封入等の時間を勘案